

# 進む！オンライン授業～変わる学び～

## ①テーマに関する説明

私たちがこのテーマを設定した理由はコロナウイルスの影響が日本全国のみならず世界全体へ広がっている中、変わりゆく日常における“学校に登校し、数十名の生徒と共に学ぶ”というこの学びのシステムが本当に最良であるのか？というところに疑問を持ち、探求していきたいと考えたからです。

## ②SDG'sとの関連

<質の高い教育をみんなに>

オンライン授業を導入することで対人関係の問題で学校に通えない人、病気で学校に通えない人みんなに授業を受ける機会を提供できるようになると思います。オンライン授業は見聞きする場所を選ばないので、距離が遠いなどの環境的な理由で受けることができない質の高い授業を受けることも可能になります。

4 質の高い教育をみんなに



## ③プロジェクトの目標

様々な資料を使ってオンラインについて知べれた

資料を使ってどの教科が適しているのか調べられた

オンライン、インターネットに対する知識が深まった

アンケートを実施し、考えを聞いてみる

オンライン授業のメリット、デメリットを理解できた

アンケートを集計し、考察した

必要性を検討しオンライン授業の是非を検証できた

どの教科が適しているか説明できた

## ④年間計画

- 7月 年間計画表の作成  
プロジェクト目標の作成
- 8月 アンケートの作成
- 9月 情報収集
- 10月 先生とミーティング  
Classiでアンケートの実施  
先生へのインタビュー
- 11月 資料の整理、印刷  
報告レポートの作成、提出  
発表資料の作成

## ⑤メリット

- ①時間短縮
- ②PCスキルが身につく
- ③移住地に関係なく高い水準の講師授業を受講
- ④教員の負担軽減
- ⑤感染症対策になる

## デメリット

- ①ネット環境の個人差
- ②電子影響の長時間利用で健康に悪影響
- ③行動的な授業がやりづらい
- ④学位・単位付与に疑問

## まとめ

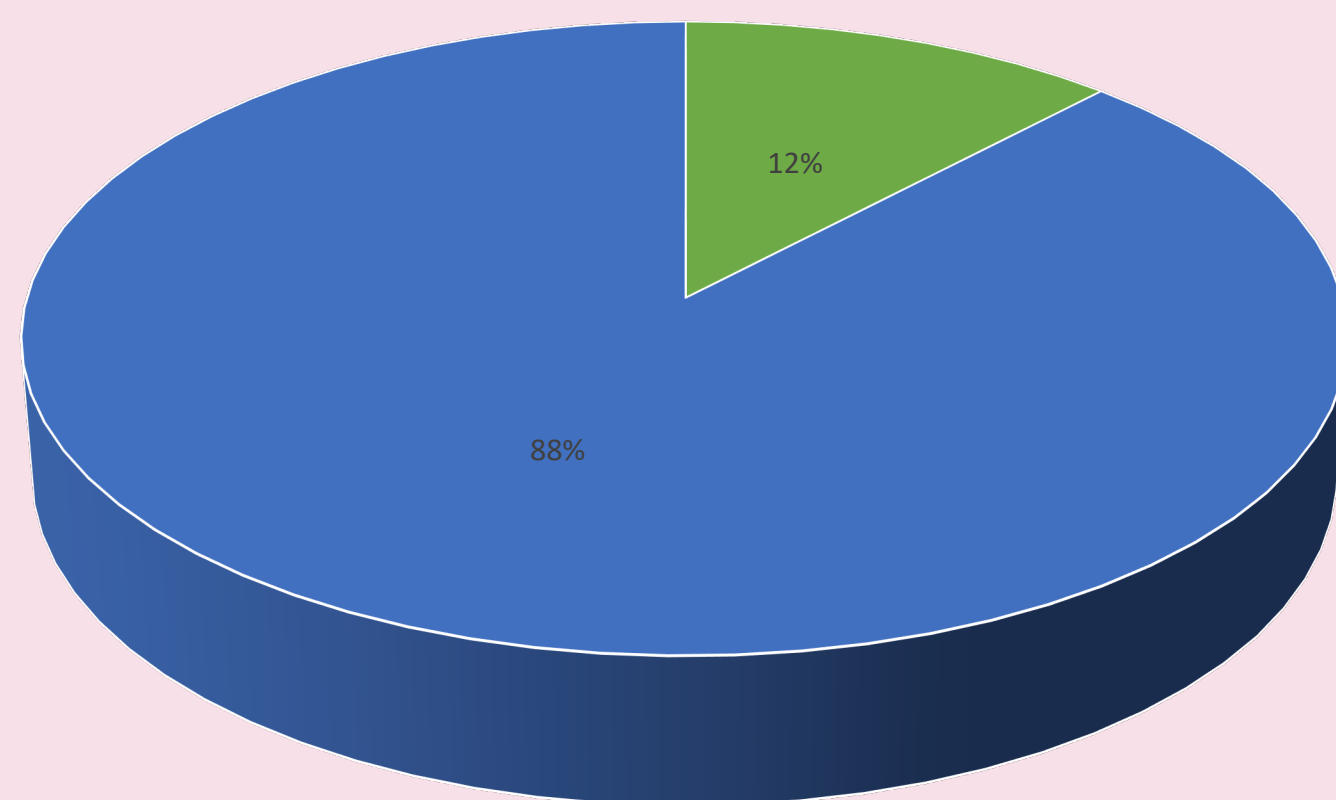
オンライン授業の探求を通して、オンライン授業は一部取り入れると、学びを深めることのできる学び方になると思った。

### 参考文献

- マレーシアヨウキ(2020. 4.24)  
<https://malaysiayouki.com/2020/04/24/onlineclassmeritdemerit/>(11月13日閲覧)
- 高校生新聞(2020. 6. 19) <https://www.koukouseishinbun.jp/articles/-/6481>(11月13日閲覧)
- 西岡巨樹(2020. 3.18) <https://mbp-japan.com/tokushima/tcramnishioka/column/5049542/>(11月13日閲覧)
- 遠藤 政樹(2020. 6.1)「オンライン授業のメリットと快適に受講するために欠かせない通信環境とは」  
[https://koneta.nifty.com/koneta\\_detail/1141008006950\\_1.htm](https://koneta.nifty.com/koneta_detail/1141008006950_1.htm)(11月13日閲覧)

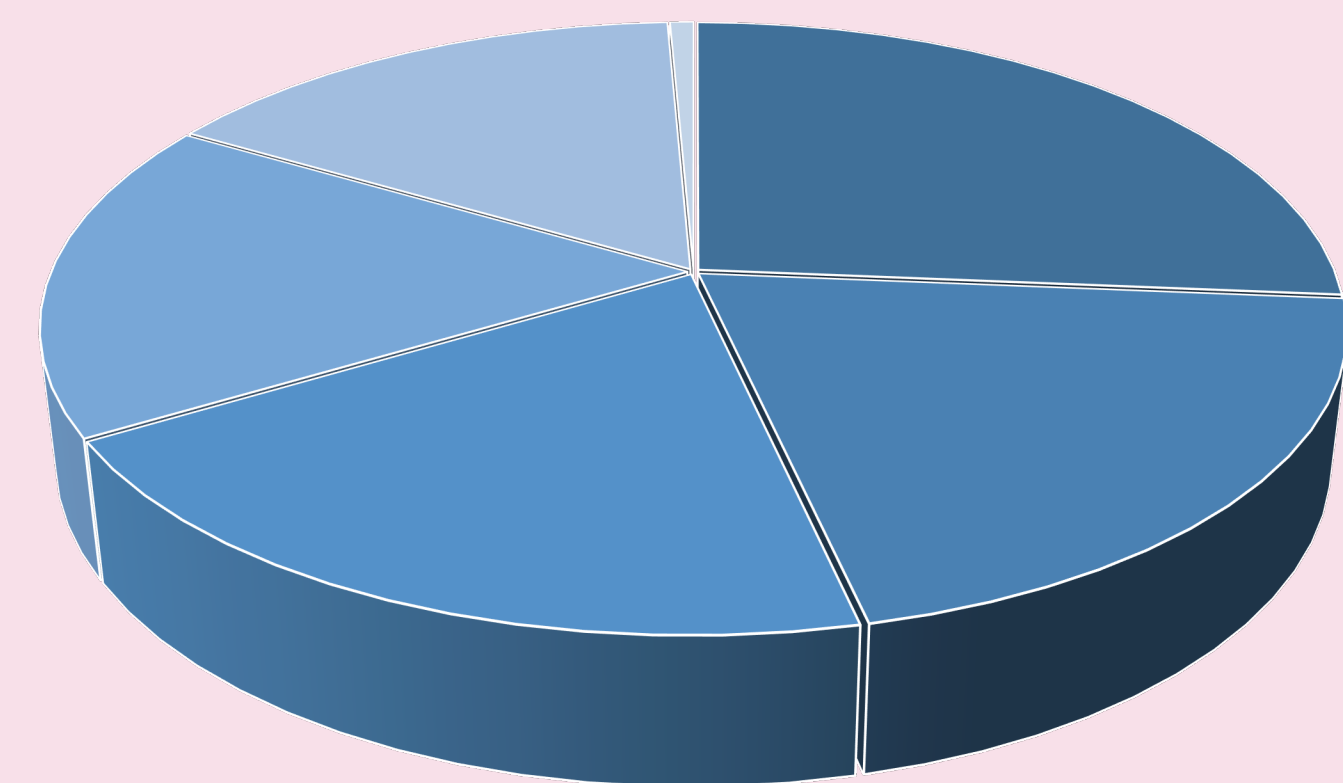
## ⑥アンケート

目的 実際の状況を確認するため  
方法 classiにて西高校教員、生徒にアンケートをとる

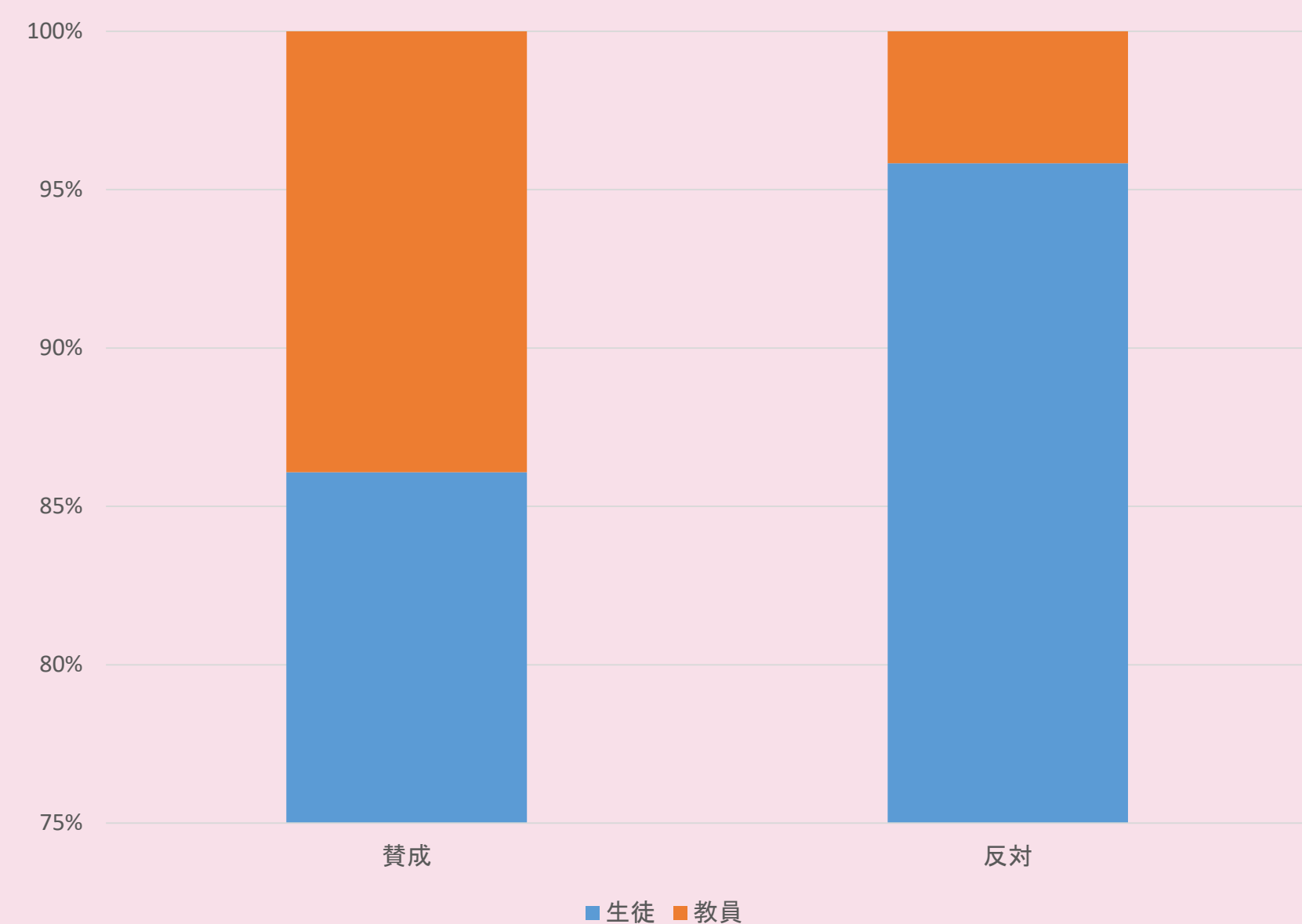


①オンライン授業を受けたことがありますか？

ある ない



②どの教科がオンライン授業に適していますか？



③オンラインについて賛成ですか？

## 考察

考察① オンライン授業は実施されているのか？  
結果→行われていないと断定

考察② どの教科がオンライン授業に適しているか？  
結果→暗記科目が多め

考察③ オンライン授業に賛成か反対か？  
結果→先生の割合のほうが多い

西高の先生はプロジェクターを使った授業が多いから？

⑦	北岡先生 〔生徒指導部・物理〕	一谷先生 〔ICT教育部・地理〕	藤沢先生 〔グローバル教育部・地理、G探〕	松田先生 〔グローバル教育部・英語・G探〕
オンライン授業をしたことはあるか	ない	ない	リモート中継 →聞いているか分からないから不安になった	リモート中継
オンライン授業に対して賛成か、反対か	賛成 →説明だけなら導入してもいいと思う	賛成 →どこでも授業が受けられる。大人数でできる	賛成 →色々な人が学習できるチャンスができる	反対 →コミュニケーションが取れない
オンライン授業をすると先生の負担が減るといえるのは本当か	軽減する →一斉に授業することができるから	軽減する →一斉に授業することができるから	時による →授業自体は楽になるが、プリントの輸送などが大変	軽減しない →反応がないと授業を進められないから
担当の科目はオンラインに適しているか	問題演習だけならいいが、実験があるから向いていない	教科の中では向いている方だが、全部をオンラインにすることはできない		向いていない コミュニケーションが大事だから

### 考察

オンライン授業はしたことない→リモートにすると、

## 今後の課題

コミュニケーションが対面して行う活動より少なくなること、対人関係の構築能力の低下のこの2つをいかに解決できるが私たちにとっての大きな課題です。

